2025 年 5 月 29〜31 日に岡山で開催された第 68 回日本糖尿病学会年次学術集会に参加してきました。2024 年 5 月は鹿児島でしたね（糖尿病センターだより 4 号参照）。岡山は京都から新幹線のぞみで 1 時間、大変便利です。今回の主任部長の演題は、小児・思春期糖尿病のセッションで、名誉ある“口演”に選ばれました。昨年は“ポスター発表”でしたね（糖尿病センターだより 4 号参照）。

口演とポスター発表ってどうちゃうねん？と思われるかもしれません。ポスター発表とは、大イベント会場に何百枚と張り並べられた症例報告ポスターを、群衆が移動しながら眺めていく形式になります。発表時間 5 分・質疑応答 2 分と短く、同時進行ですべてのセッションのポスター発表が始まりますので大変騒がしく、少しでも演者の先生の声が小さいと聞き取れないくらいです。

それに対して口演は、セッション毎に割り振られた会議室で一人ずつ登壇し、静まり返った部屋の中で Power Point で作成したスライドを用いて、自らが経験した症例や臨床研究の結果を報告します。発表時間 7 分・質疑応答 3 分と発表にかける時間も長くなります。大多数の演題は、ポスター発表に割り振られます。そして“ゆっくり腰を据えて聞く価値がある”と判断された演題が口演に選ばれる、と言っても過言ではありません。そうです、そんな名誉ある口演に主任部長の演題が選ばれたことに、私自身が一番びっくりしていました。でも選ばれたからにはやるしかありません。主任部長、忙しい日常診療の合間を縫って一生

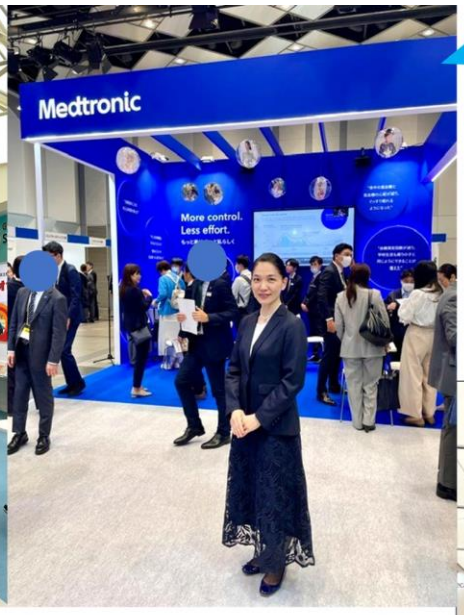
懸命スライドを作りました（そして厳しくも恐ろしい、例のお師匠にもメールでご指導賜りました; 糖尿病センターだより 7 号 part2 参照）。

主任部長、講演会などで各地に呼ばれ 1 時間の長丁場でお話させて頂く経験も少なくありません。100 名規模のお客様の前でお話させていただく事も決して珍しくありません。それでもなお、日本糖尿病学会総会の口演以上に緊張する発表の舞台を私は知りません。小さな会議室に居並ぶ先生は、その道に精通された偉大な方々ばかり。今回の発表で行くと、小児・思春期糖尿病を学ぶ医師なら、誰もがそのお顔とお名前を存じ上げている大先生方が、日本全国から岡山の小さな会議室に集結し、真剣な眼差しでスライドを見つめています。部屋に漂う異様な静寂と緊張感、演者の先生の青ざめた顔が気の毒です。1 演題終わるたびに、大先生方がさっと手を挙げ立ち上がり、部屋の中央に据えられたマイクに駆け寄ります。「質問ですが…」「先生がお示しになったデーターの…」「先程の結果ですが…」流石、飛び交う質問も超一流です。演者は、先生方から頂いた全ての質問に、満足のいく答えを返さなければなりません。質問に答えられずにフリーズする演者の先生…心から同情します、だって明日は我が身ですもの。

さあ、主任部長の番です。ここまで来たらやるしかありません。背筋をピンと伸ばして、はっきりした口調で丁寧にスライドを読み上げます。最後のスライドを提示した途端に椅子から立ち上がり、マイク待ちの列に並ぶ大先生が 3 名。

ドキドキしましたが、質問に対して丁寧に答えます（すべて対策済みの質問でした！良かった（笑））。小児・思春期糖尿病のセッションが終わった後も、会場の外でたくさんの先生方に声をかけて頂いて、「良い発表だったよ。」とお褒めの言葉を頂けたことは本当に嬉しく、肩の荷が下りた気分でした。当科の専攻医２人も主任部長の発表を聞きに来てくれました。私の精一杯の発表から、彼らが何かを学んでくれたのだとしたら本当に嬉しい限りです。

その後は、企業の展示ブースを回ったり（お写真 1)、元プロ野球選手の岩田稔さんと握手したり（お写真 2）と楽しいひとときを過ごしました。また、女性研究者賞をお取りになった竹下先生の「2 型糖尿病-肝臓間 交互作用の研究」の講演が本当に素晴らしく、心から感動しました。学会最終日に岡山城を見学（お写真 3）出来たのも良い気分転換でした。



インスリンポンプの
展示ブースは大盛況でした

岡山市のイメージキャラクター
「ミコロ」「ハコロ」

当科でもたくさんの患者さんにご使用いただいている
リアルタイム持続血糖測定器、フリースタイルリブレ 2の
展示ブースです。数年後にはリブレ3が登場予定です。

日本糖尿病学会年次学術集会では、糖尿病治療に関わる企業の展示ブースがあります。
お茶やコーヒーも提供して下さるので、学会の講演の合間に展示ブースを訪れることが多いです。

飲み薬や注射製剤の展示はもちろん、インスリンポンプや最新のリアルタイム持続血糖測定器の展示ブースは、たくさんの医療関係者で大盛況でした。

元プロ野球選手の岩田稔さんとツーショット写真頂きました！
1型糖尿病のある岩田さんは、インスリン注射を打って血糖値を管理しながら先発投手として16年間阪神タイガースで活躍されました。主任部長、岡山の学会で一番楽しみにしていたイベントです。長年の夢が叶いました。

インスリンポンプ治療はなさらないんですか？

Mini Med 780g のAuto Modeで血糖値がすごくよくなることは聞いているんですが…。
今はペン型インスリン製剤で治療しています。

血糖コントロールがむちゃむちゃになったら考えて見ます…。

是非是非～（笑）。

岡山市内には2系統の路面電車が走っています。市内の移動には大変便利です。片道120円！いろんなラッピングの路面電車が走っています。JR岡山駅から岡山城まで15分、まさに「晴れの国」岡山ですね。令和の大改修を終えたばかりの烏城(岡山城)は本当に美しかったです。

さあ、また一年間頑張るぞ！ そんな思いを抱かせてくれた岡山の学会でした。